

令和7年度
事業計画書

通所介護

勝原第二デイサービスセンター

法人理念

「いたわりと思いやり」

「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	(総合事業) 通所介護
事業の名称	勝原第二デイサービスセンター
指定番号	2874001593
施設の所在地	〒671-1201 姫路市勝原区下太田 201 TEL 079-271-5550 / FAX 079-271-5560
事業開始	平成13年11月1日
管理者	管理者 辻勝彦
利用定員	40人/日
通常の実施地域	姫路市(勝原区・大津区・網干区・広畑区・余部区・青山・太市)太子町
営業日	月曜日～土曜日(8:30～17:30)
サービス提供時間	9:15～16:30

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	個々の利用者、家族のニーズに副った支援を行い、利用者が楽しみながらできる機能訓練やレクリエーション活動を提供し、身体機能の向上を図っていくことで、稼働率80%以上を目指す。
理 由	機能訓練に集中できない利用者も多く、動機づけを行い、意欲的に身体を動かし、モチベーションの向上を図りたいため。 近年、利用者のニーズは益々多種多様化しており、可能な限りニーズに応じた支援を行っていくことで満足感を高めたいため。
具体的対応策	1. フィットネスクラブと提携し、リズムに合わせた音楽性の高い機能訓練を継続的に実施する。 2. レクリエーション活動に身体動作を伴うゲームを数多く考案・企画し、実施する。 3. 利用者や家族とのコミュニケーションを密にし、的確に把握したニーズが実現できるよう、担当介護支援専門員と連携しつつ、取り組む。 4. 地域包括センターや居宅介護支援事業所の訪問を強化し、利用者の状態や活動内容などを説明し、新規利用につなげる。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、一人ひとりの利用者が、安全で快適な利用がかなうように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		パート		外国人		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
管 理 者	1							1	1.0
生 活 相 談 員	1							1	1.0
機能訓練指導員				1	0.4			1	0.4
看 護 職 員				2	1.6			2	1.6
介 護 員	1			7	4.3			8	5.3
運 転 手				1	0.3			1	0.3
合 計	3			11	6.6			14	9.6

※ 管理者は介護員を兼務

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
感染症対策委員会	感染症の知識と対処方法を職員に対して周知徹底を行い、事業所内での集団感染を防ぐ。また、予防のための手指の消毒、殺菌を強化する。	月 1 回開催 【施設内研修】 6 月・9 月・12 月
リスクマネジメント委員会	毎月、ヒヤリハット、事故報告の集計を行い、傾向を分析した上で事故防止のための研修を行い、事故を未然に防ぐ。	月 1 回開催 【施設内研修】 5 月・11 月・3 月
接遇委員会	言葉遣いだけでなく、表情や笑顔を意識して、利用者 と接し、好印象を得るような職員像を考え、職員に周知するとともに、実践を図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 7 月・2 月
環境安全対策委員会	毎月の避難訓練の実施や事業所内の設備の確認を中心に行いつつ、利用者への適切なケア方法に関しても取り組み、施設内研修で周知を図る。	月 1 回開催 【施設内研修】 8 月・1 月

5. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が地域住民とともに過ごす時間を作り、めりはりのある生活や馴染みのある習慣が継続できるように時節に応じた次の行事を計画する。

月	行 事 内 容	内容
4 月	①お花見	①ドライブとして、近隣に桜の観賞に出かける。
5 月	①下太田花祭り	①地域行事として、催される釈迦の誕生を祝う祭りを見学する。
6 月	①野外活動（あじさい観賞）	①野外活動として、たつの市の世界の梅公園まで観賞に出かける。
7 月	①七夕会 ②そうめん流し	①七夕飾りを作成し、節句としての慣わしを実施する。 ②そうめん流し行い夏の季節を感じてもらう
8 月	①納涼大会	①夏祭りとして、縁日を意識したイベントを実施する。
9 月	①野外活動（弥勒寺参拝）	①野外活動として、夢前町弥勒寺に参拝に出かける。
10 月	①運動会	①運動会として、レクリエーション大会を実施する。
11 月	①野外活動（紅葉観賞） ②やながせ文化祭	①野外活動として、羅漢の郷まで観賞に出かける。 ②法人内各事業所の利用者が創作した作品を展示した会場まで見学に出かける。
12 月	①クリスマス会	①クリスマスイベントとしてゲーム大会を行うとともにプレゼントを手渡す。
1 月	①初詣	①初詣として、魚吹八幡神社に出かける。
2 月	①節分	①節分の豆まきを行う。
3 月	①野外活動（紅梅観賞）	①野外活動として、高砂市の曾根天満宮まで観賞に出かける。
毎月	①デイだよりの発行	①事業所での活動内容や取り組み等を月 1 回広報誌として発行する。

6. 地域福祉推進事業

介護保険法による通所介護事業の他に地域福祉活動として、次の事業を実施する。

事業名	内 容
いきがい デイサービス事業	65歳以上で、介護保険、総合事業に該当しない自立した高齢者を対象に、地域サポート事業として、健康管理やドライブ・レクリエーション・創作活動・手芸活動等のサービスを提供する。 実施日時 … 日曜日（年末年始を除く） 職 員 … 指導員、看護師、補助員、運転手 各1名

7. 施設の安全対策

一人ひとりの利用者にとって、より安全な利用を図るため、防災意識を高め、有事に備えて、次の災害への対策を実施する。

月	訓練種目	内 容
4月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
5月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
6月	消防訓練 ※網干消防署立入検査	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明 網干消防署の館内設備等立入検査
7月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
8月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
9月	自然災害対応訓練	福祉避難所開所手順、避難手順の確認
10月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
11月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
12月	消防訓練 ※第二ホームと合同訓練	通報及び避難手順、役割分担の確認、通報機器の操作手順の説明
1月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
2月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明
3月	消防訓練	通報及び避難手順の確認、通報機器の操作手順の説明

8. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研 修 名	対 象	研修担当
4 月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修	全職員	管理者・相談員
5 月	リスク管理研修	介護職員	リスク管理委員会
6 月	食中毒予防研修	全職員	感染症対策委員会
7 月	接遇研修	全職員	接遇委員会
8 月	介護技術に関する研修	介護職員	環境安全委員会
9 月	食中毒・感染症予防研修	全職員	感染症対策委員会
10 月	倫理に関する研修	全職員	管理者・相談員
11 月	リスク管理研修	介護職員	リスク管理委員会
12 月	感染症予防研修	介護職員	感染症対策委員会
1 月	B C Pに関する研修	全職員	環境安全委員会
2 月	身体拘束・虐待防止に関する研修	全職員	接遇委員会
3 月	リスク管理研修	介護員	リスク管理委員会

※ 新任職員入職時には、理念、法令遵守、リスクマネジメント、感染症予防対策、各専門職種からの留意事項などの研修を行う。

※ 新任職員は、やながせ福祉会で行う合同新任職員研修に参加する。

9. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、事業所としての水準の底上げを図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・「持ち込まない」「広めない」「持ち帰らない」感染症対策について	感染症対策研修
法人全体	・大雨、洪水、高潮など自然災害時の対応について	災害対策研修
法人全体	・人権意識、倫理観について	人権擁護研修

対 象	研 修 内 容	研 修 名
法人全体	・ 福祉、介護の専門職として、持つべきマナーなどについて	接遇研修
法人全体	・ 健康管理について	産業医研修
管理者	・ 衛生管理について	人事・労務管理研修
中堅職員研	・ リーダーの役割、業務改善、課題達成提案、コーチングについて	マネジメントリーダー研修
介護職員	・ 喀痰吸引、経管栄養の実施手順と留意点について	介護技術向上研修